

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ばんびーにもじ (単位1)		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 3日		令和8年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 3日		令和8年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職による専門的な評価・支援ができる	理学療法士・作業療法士・保育士など専門職による直接支援が行える。	職員の知識・技能を高めるため、外部研修会への参加や内部研修などを積極的に行っていく。
2	利用児童に対して個別療育と集団療育の両方を行っている	個別療育での本児の特性や発達段階、ニーズに沿った支援によって個々の能力向上を支援し、それらを集団療育における他者との社会的な関わりやコミュニケーション、ルールを伴った活動によって般化できるよう切れ目のない支援を行っている。	個々の児童の課題をきめ細やかに抽出するため、職員間で情報共有や事例検討を行い、より質の高い支援が提供できるようにしている。
3	児童・保護者の満足度が高い	定期的な面談により保護者のニーズを細やかに抽出し、即支援に反映できるよう情報共有をしている。また、児童に選択制を持たせて主体的に療育に取り組んでもらえるよう配慮している。	児童が主体的にかつ楽しんで取り組める個別・集団療育のプログラムを幅広く立案していく。児童の変化や新たな課題を保護者と共有していく。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場がない	保護者が交流できる機会が提供できていない。	保護者会や保護者向けの講習会などを企画して交流の場が設けられるよう検討する。
2	災害時の対応についての周知が足りない	定期的に訓練を実施しているが、参加できる児童に限られてしまい全体の周知につながない。	災害時や緊急時の対応、訓練の結果等をお伝えする広報の配布等を検討する。
3	連絡帳の記載が煩雑	手書きの連絡帳を用いているため、保護者によっては不便等の声がある。また、職員にとっては都度の記入に時間を取られてしまい、字が雑で読みづらい等の声がある。	連絡帳アプリの導入を検討するとともに、だれにとっても見やすい記載を心掛ける。